



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成28年10月31日
上場取引所 東

上場会社名 八千代工業株式会社
 コード番号 7298 URL <http://www.yachiyo-ind.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 川瀬 和昭 (TEL) 04-2955-1211
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 平成28年11月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	64,949	△14.0	1,983	△67.9	1,857	△67.2	599	△85.4	△69	—	△4,950	—
28年3月期第2四半期	75,488	6.0	6,184	△12.5	5,671	△21.1	4,102	△28.2	3,161	△37.0	1,167	△86.4

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△2.88	—
28年3月期第2四半期	131.63	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	112,694	55,808	46,654	41.4
28年3月期	117,842	61,962	51,651	43.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	12.00	—	14.00	26.00
29年3月期	—	14.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	139,000	△7.2	10,500	△10.8	10,300	△9.1	7,400	6.4	4,800	1.8	199.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名） ゴウシ フィリピン インコーポレーテッド
除外 1社（社名） —

（注）詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご参照ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	24,042,700株	28年3月期	24,042,700株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	29,248株	28年3月期	29,248株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	24,013,452株	28年3月期2Q	24,013,482株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく要約四半期連結財務諸表のレビュー手続は実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記業績予想は、平成28年3月期決算短信（平成28年4月28日発表）における業績予想から変更しております。詳細につきましては、本日発表の「2017年3月期第2四半期連結累計期間業績予想との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因の変化により、記載の業績予想とは大きく異なる結果となり得ますことをご承知おきください。

なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	4
3. 要約四半期連結財務諸表	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
第2四半期連結会計期間	9
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報等)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の経済状況は、国内においては、設備投資は持ち直しの動きに足踏みがみられるものの、個人消費は総じてみれば底堅い動きとなっており、景気は弱さも見られるものの緩やかな回復基調が続いております。一方、海外においては、米国の景気は、企業部門の一部に弱めの動きがみられ、金融政策正常化の影響が懸念されるものの、雇用環境の改善に伴う個人消費の増加を中心として回復が続いております。アジア諸国の景気は、中国では、不動産価格や過剰債務問題を含む金融市場の動向等が懸念されるなか、緩やかに減速しており、インドでは内需を中心に緩やかに回復しております。その他のアジア諸国においては、景気は内需を中心にこのところ持ち直しの動きがみられております。欧州主要国の景気は、英国のEU離脱問題や高い失業率、地政学的リスクの影響が懸念されるなか、一部に弱めの動きもみられるものの、緩やかに回復しております。

このような状況のもと、当社グループは、2014年4月からスタートした第12次中期計画の施策展開として、多様な顧客ニーズに対応するため、研究開発におきましてはシミュレーション技術を活用した開発期間の短縮や高付加価値、かつコスト競争力のある技術・製品の開発に取り組んでおります。その結果、主力製品であるサンルーフにおいては開放感を高めたパノラマサンルーフが採用されており、今後も順次新機種に採用される予定であります。また、樹脂製燃料タンクでは新製法を採用し、静粛性と環境性能を高めた製品の量産を開始いたします。生産におきましては品質維持向上活動や生産効率向上活動を継続推進し、第12次中期方針で掲げている『グローバルでトップクラスの技術・製品の競争力を獲得する』を目指し、お客様に良いものをタイムリーに供給できる体制を更に強化しております。管理におきましては設計から量産に至るすべての業務プロセスの改善活動をグローバルで継続推進しております。人材におきましては中長期計画に基づいた能力向上プログラムの実践とその能力を最大限発揮できる適切な要員配置を進め、更に領域別のコア人材マップの構築、コア技術伝承の仕組みの整備に着手しております。

なお、熊本地震の影響、為替影響に対しては、事業への影響を最小限に留めるべく対応しております。

当第2四半期連結累計期間の売上収益は、海外における受注の増加はあったものの、熊本地震の影響による主要顧客の生産が休止したことに伴う受注の減少や為替換算上の影響などにより、649億4千9百万円と前年同期に比べ105億3千8百万円、14.0%の減収となりました。利益につきましては、海外における受注の増加や原価改善効果はあったものの、熊本地震の影響による受注の減少や為替換算上の影響などにより、営業利益は、19億8千3百万円と前年同期に比べ42億1百万円、67.9%の減益となりました。税引前四半期利益は、18億5千7百万円と前年同期に比べ38億1千3百万円、67.2%の減益、四半期利益は、5億9千9百万円と前年同期に比べ35億2百万円、85.4%の減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

日本においては、熊本地震の影響による主要顧客の生産が休止したことに伴う受注の減少などにより、売上収益は、127億6千1百万円と前年同期に比べ23億3千8百万円、15.5%の減収となりました。税引前四半期損失は、受注の減少などにより、28億1千7百万円と前年同期に比べ23億1千6百万円の減益となりました。

(米州)

米州においては、為替換算上の影響や連結子会社であるユー エス ヤチヨ インコーポレーテッド(米国)における受注の減少などにより、売上収益は、181億7千7百万円と前年同期に比べ39億5千8百万円、17.9%の減収となりました。税引前四半期利益は、為替換算上の影響や受注の減少、機種構成変化などにより、9億3千7百万円と前年同期に比べ8億6千2百万円、47.9%の減益となりました。

(中国)

中国においては、連結子会社である八千代工業(武漢)有限公司(中国)における受注の増加はあったものの、為替換算上の影響などにより、売上収益は、105億5千9百万円と前年同期に比べ5億9千7百万円、5.4%の減収となりました。税引前四半期利益は、受注の増加はあったものの、機種構成変化や償却費の増加、為替換算上の影響などにより、14億2千万円と前年同期に比べ6億4千3百万円、31.2%の減益となりました。

(アジア)

アジアにおいては、連結子会社であるサイアム ヤチヨ カンパニー リミテッド(タイ)及びゴウシ タンロン オートパーツ カンパニー リミテッド(ベトナム)における受注の増加はあったものの、サイアム ゴウシ マニュファクチュアリング カンパニー リミテッド(タイ)における受注の減少や為替換算上の影響などにより、売上収益は、234億5千3百万円と前年同期に比べ36億4千5百万円、13.5%の減収となりました。税引前四半期利益は、為替換算上の影響はあったものの、受注の増加などにより、23億9千4百万円と前年同期に比べ9千4百万円、4.1%の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、1,126億9千4百万円と前年度に比べ51億4千8百万円の減少となりました。減少した要因は、棚卸資産の増加はあったものの、営業債権及びその他の債権が減少したこと、また、為替換算上の影響などによるものであります。

負債合計は、568億8千6百万円と前年度に比べ10億5百万円の増加となりました。増加した要因は、営業債務及びその他の債務の減少や為替換算上の影響はあったものの、借入金が増加したことなどによるものであります。

資本合計は、558億8百万円と前年度に比べ61億5千4百万円の減少となりました。減少した要因は、その他の資本の構成要素が減少したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税引前四半期利益18億5千7百万円、減価償却費及び償却費37億3千6百万円などはあったものの、有形固定資産の取得による支出26億4千7百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出28億3百万円及び長期借入金の返済による支出28億2百万円などにより、当第2四半期連結会計期間末における資金残高は140億7千8百万円となり、前年度に比べ13億9千4百万円減少しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの前年同期に対する増減要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、税引前四半期利益18億5千7百万円、減価償却費及び償却費37億3千6百万円などはあったものの、法人所得税の支払額11億4百万円などにより、前年同期に比べ25億4千7百万円減少し、51億2千1百万円（前年同期は76億6千8百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、有形固定資産の取得による支出26億4千7百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出28億3百万円などにより、前年同期に比べ36億5千7百万円増加し、58億2千1百万円（前年同期は21億6千4百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、長期借入金の返済による支出28億2百万円、配当金の支払額13億7百万円などはあったものの、短期借入金の純増加額47億5千1百万円などにより、前年同期に比べ57億7千7百万円増加し、7億9千4百万円（前年同期は49億8千3百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2017年3月期の売上収益につきましては、下期における自動車組立分野及び二輪部品での挽回生産は見込まれるものの、上期の減収や下期の為替の想定レートを1米ドル110円から100円に変更したことに伴う為替換算上の影響などにより、前回予想を下回ることとなりました。

利益につきましても、自動車組立分野及び二輪部品での増収に伴う利益の増加や原価改善効果はあるものの、上期における減益や為替換算上の影響などにより、通期業績予想を以下のとおりとしております。

<連結業績の見通し>

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
今回修正予想	139,000	10,500	10,300	7,400	4,800
前期実績(2016年3月期)	149,816	11,766	11,333	6,957	4,715
増減率(%)	△7.2	△10.8	△9.1	6.4	1.8

なお、詳細につきましては、本日公表の「2017年3月期第2四半期連結累計期間業績予想との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

株式会社合志テック、ゴウシ フィリピン インコーポレーテッド及びラグナ アソシエ リアルティ インコーポレーテッドは、2016年4月1日付けで連結子会社である合志技研工業株式会社が、株式会社エム・エス・デイが日本で営む二輪部品の製造販売事業及び株式会社エム・エス・デイのフィリピン子会社であるMASUDA PHILIPPINES, INC.の事業を譲受けたことに伴い、当社の連結の範囲に加わっております。なお、ゴウシ フィリピン インコーポレーテッドの資本金の額が当社の資本金の額の100分の10以上に相当し、特定子会社に該当いたしません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2016年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	15,472	14,078
営業債権及びその他の債権	31,198	27,207
その他の金融資産	2,145	1,635
棚卸資産	9,507	10,945
その他の流動資産	938	1,150
流動資産合計	59,260	55,015
非流動資産		
有形固定資産	49,926	47,620
無形資産及びのれん	4,893	5,959
その他の金融資産	1,295	1,326
繰延税金資産	792	1,166
退職給付に係る資産	1,148	1,111
その他の非流動資産	528	498
非流動資産合計	58,582	57,679
資産合計	117,842	112,694

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2016年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	22,808	21,101
借入金	10,350	14,124
その他の金融負債	106	83
未払法人所得税	664	1,092
その他の流動負債	4,494	4,868
流動負債合計	38,423	41,269
非流動負債		
借入金	6,902	5,111
その他の金融負債	81	133
退職給付に係る負債	5,479	5,726
繰延税金負債	4,567	4,375
その他の非流動負債	428	273
非流動負債合計	17,458	15,617
負債合計	55,880	56,886
資本		
資本金	3,686	3,686
資本剰余金	3,473	3,473
利益剰余金	41,530	41,125
自己株式	△25	△25
その他の資本の構成要素	2,988	△1,604
親会社の所有者に帰属する持分合計	51,651	46,654
非支配持分	10,311	9,154
資本合計	61,962	55,808
負債及び資本合計	117,842	112,694

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
 (要約四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)
継続事業		
売上収益	75,488	64,949
売上原価	△62,386	△55,943
売上総利益	13,102	9,006
販売費及び一般管理費	△5,237	△4,982
研究開発費	△1,663	△1,955
その他の収益	94	135
その他の費用	△113	△222
営業利益	6,184	1,983
金融収益	253	211
金融費用	△769	△336
持分法による損益	2	—
税引前四半期利益	5,671	1,857
法人所得税費用	△1,729	△1,258
継続事業からの四半期利益	3,942	599
非継続事業		
非継続事業からの四半期利益	159	—
四半期利益	4,102	599
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	3,161	△69
非支配持分	941	668
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(損失)(円)		
継続事業	124.99	△2.88
非継続事業	6.64	—
基本的1株当たり四半期利益合計	131.63	△2.88

(要約四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)
四半期利益	4,102	599
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の純変動	△438	51
純損益に振り替えられることのない項目 合計	△438	51
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△2,496	△5,600
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△2,496	△5,600
その他の包括利益合計	△2,934	△5,549
四半期包括利益	1,167	△4,950
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,008	△4,661
非支配持分	159	△289

(要約四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2015年7月1日 至 2015年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2016年7月1日 至 2016年9月30日)
継続事業		
売上収益	37,997	31,309
売上原価	△31,080	△27,495
売上総利益	6,916	3,815
販売費及び一般管理費	△2,669	△2,414
研究開発費	△799	△969
その他の収益	14	33
その他の費用	△82	△56
営業利益	3,381	409
金融収益	95	57
金融費用	△392	△100
税引前四半期利益	3,084	366
法人所得税費用	△1,166	△799
継続事業からの四半期利益(損失)	1,918	△433
非継続事業		
非継続事業からの四半期利益	70	—
四半期利益(損失)	1,988	△433
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,514	△742
非支配持分	474	308
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(損失)(円)		
継続事業	60.14	△30.88
非継続事業	2.92	—
基本的1株当たり四半期利益合計	63.06	△30.88

(要約四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2015年7月1日 至 2015年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2016年7月1日 至 2016年9月30日)
四半期利益(損失)	1,988	△433
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の純変動	△322	70
純損益に振り替えられることのない項目 合計	△322	70
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△3,043	△737
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△3,043	△737
その他の包括利益合計	△3,365	△667
四半期包括利益	△1,376	△1,101
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△1,119	△1,328
非支配持分	△257	228

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
2015年4月1日残高	3,686	3,473	38,739	△25
四半期包括利益				
四半期利益			3,161	
その他の包括利益				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動				
在外営業活動体の換算差額				
四半期包括利益合計	—	—	3,161	—
所有者との取引等				
剰余金の配当			△240	
連結範囲の変動				
所有者との取引等合計	—	—	△240	—
2015年9月30日残高	3,686	3,473	41,660	△25
2016年4月1日残高	3,686	3,473	41,530	△25
四半期包括利益				
四半期利益			△69	
その他の包括利益				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動				
在外営業活動体の換算差額				
四半期包括利益合計	—	—	△69	—
所有者との取引等				
剰余金の配当			△336	
連結範囲の変動				
所有者との取引等合計	—	—	△336	—
2016年9月30日残高	3,686	3,473	41,125	△25

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			合計		
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	在外営業活動体の換算差額	合計			
2015年4月1日残高	1,116	6,813	7,929	53,801	9,973	63,774
四半期包括利益						
四半期利益				3,161	941	4,102
その他の包括利益						
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	△438		△438	△438		△438
在外営業活動体の換算差額		△1,715	△1,715	△1,715	△781	△2,496
四半期包括利益合計	△438	△1,715	△2,153	1,008	159	1,167
所有者との取引等						
剰余金の配当				△240	△670	△910
連結範囲の変動						
所有者との取引等合計	—	—	—	△240	△670	△910
2015年9月30日残高	678	5,098	5,776	54,568	9,463	64,031
2016年4月1日残高	438	2,549	2,988	51,651	10,311	61,962
四半期包括利益						
四半期利益				△69	668	599
その他の包括利益						
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	51		51	51		51
在外営業活動体の換算差額		△4,643	△4,643	△4,643	△957	△5,600
四半期包括利益合計	51	△4,643	△4,592	△4,661	△289	△4,950
所有者との取引等						
剰余金の配当				△336	△971	△1,307
連結範囲の変動					103	103
所有者との取引等合計	—	—	—	△336	△868	△1,204
2016年9月30日残高	490	△2,093	△1,604	46,654	9,154	55,808

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	5,671	1,857
非継続事業からの税引前四半期利益	160	—
減価償却費及び償却費	4,293	3,736
金融収益	△253	△211
金融費用	771	336
持分法による損益	△2	—
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△770	1,292
棚卸資産の増減額(△は増加)	△995	△966
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	154	39
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	94	63
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	2	38
その他(純額)	134	△104
小計	9,259	6,081
配当金の受取額	64	31
利息の受取額	191	184
利息の支払額	△129	△72
法人所得税の支払額又は還付額	△1,716	△1,104
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,668	5,121
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,467	△2,647
有形固定資産の売却による収入	73	42
無形資産の取得による支出	△599	△650
定期預金の預入又は払戻(純額)	△225	1
事業譲渡による収入	—	229
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△2,803
関連会社株式の売却による収入	926	—
その他(純額)	127	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,164	△5,821
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△730	4,751
長期借入による収入	—	200
長期借入金の返済による支出	△3,281	△2,802
親会社の所有者への配当金の支払額	△241	△336
非支配持分への配当金の支払額	△670	△971
その他(純額)	△62	△47
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,983	794
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	521	94
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,106	△1,488
現金及び現金同等物の期首残高	18,530	15,472
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,945	14,078

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(1) 非継続事業についての報告セグメントの概要

当社は、2015年10月に日本国内で板金事業を営む株式会社ワイジーテックの全事業及び四日市プレス工場を、東プレ株式会社に譲渡することを決議し、2016年1月に譲渡を完了しております。

これをもって当社グループは板金部品事業を終了したため、同事業を非継続事業に分類し、セグメント情報から除いております。

(2) セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は次のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額	連結
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	15,099	22,135	11,156	27,098	—	75,488	—	75,488
セグメント間の内部売上収益	3,548	—	229	105	48	3,931	△3,931	—
合計	18,648	22,135	11,385	27,203	48	79,418	△3,931	75,488
セグメント利益 (税引前四半期利益又は損失)	△501	1,800	2,063	2,300	17	5,679	△8	5,671

(注) 1 「調整額」の内容は、次のとおりであります。

- (1) 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。
 - (2) セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。
- 2 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

当第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額	連結
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	12,761	18,177	10,559	23,453	—	64,949	—	64,949
セグメント間の内部売上収益	3,798	300	347	248	67	4,759	△4,759	—
合計	16,559	18,477	10,906	23,700	67	69,709	△4,759	64,949
セグメント利益 (税引前四半期利益又は損失)	△2,817	937	1,420	2,394	3	1,936	△79	1,857

(注) 1 「調整額」の内容は、次のとおりであります。

- (1) 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。
 - (2) セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。
- 2 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。
- 3 株式会社合志テックを日本セグメント、ゴウシ フィリピン インコーポレーテッド及びラグナ アソシエリアルティ インコーポレーテッドをアジアセグメントに含めております。

前第2四半期連結会計期間 (自 2015年7月1日 至 2015年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	連結
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	7,718	11,132	5,560	13,587	—	37,997	—	37,997
セグメント間の内部売上収益	1,427	—	124	72	39	1,663	△1,663	—
合計	9,145	11,132	5,684	13,659	39	39,659	△1,663	37,997
セグメント利益 (税引前四半期利益又は損失)	△470	1,387	1,118	1,027	15	3,077	6	3,084

(注) 1 「調整額」の内容は、次のとおりであります。

- (1) 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。
 - (2) セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。
- 2 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

当第2四半期連結会計期間 (自 2016年7月1日 至 2016年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	連結
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	5,893	8,404	5,321	11,691	—	31,309	—	31,309
セグメント間の内部売上収益	1,865	144	178	103	32	2,321	△2,321	—
合計	7,758	8,548	5,499	11,794	32	33,631	△2,321	31,309
セグメント利益 (税引前四半期利益又は損失)	△1,617	219	694	1,088	1	385	△18	366

(注) 1 「調整額」の内容は、次のとおりであります。

- (1) 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。
 - (2) セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。
- 2 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。
- 3 株式会社合志テックを日本セグメント、ゴウシ フィリピン インコーポレーテッド及びラグナ アソシエリアルティ インコーポレーテッドをアジアセグメントに含めております。